

～小中高生の学習に関する意識調査～ **勉強が分からなくても“父親”には聞かない！？ 将来の夢、男子は「夢は無い」！**

eラーニング教材「すらら」を展開する株式会社すららネット(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:湯野川孝彦)では、「小中高生の学習に関する意識調査」を小学5年生から高校3年生までの男女に実施しました。

- 1) 勉強で分からないとき、半数以上の小中高生が誰かに聞く！
- 2) 勉強が分からなくても“父親”には聞かない！？
- 3) 勉強するのは“誰かに言われて”ではなく、“自発的に”が半数以上！
- 4) 将来の夢、男子は「夢は無い」、女子は「幼稚園・保育園の先生」！
- 5) 先生になって欲しいタレント 男性1位は櫻井翔(嵐)さん、女性1位は上戸彩さん

1) 勉強で分からないとき、半数以上の小中高生が誰かに聞く！

「勉強で分からないことがあった時、誰かに聞いているか」を質問したところ、「聞く(「良く聞く」と「聞くことが多い」の合計)」との回答が58.8%と、半数以上が誰かに聞いていることが分かりました。

聞く理由としては、「調べるのが面倒くさいから(聞く方が楽)」は14.4%にとどまり、怠け心からというよりは、「1人で調べても正解か不安だから」(44.2%)といった不安感や、「すぐに答えが知りたいから」(41.3%)、「聞いた方が早いから」(33.7%)といった合理主義により、人に聞いているようです。

一方、勉強で分からないことがあっても人に聞かない理由としては、「自分で何とかしたいから」が6割以上と、ポジティブな理由から聞いていないようです。しかし、「どう質問していいか分からないから」も約3割と、人に聞きたくても聞けない厳しい現状が伺えます。

■結果:「勉強で分からないことがあった時、誰かに聞いていますか？」の回答

No.	回答項目	%
1	よく聞く	24.3%
2	聞くことが多い	34.5%
3	あまり聞かない	31.6%
4	聞かない	8.5%
5	未回答	1.1%

■結果:「よく聞く・聞くことが多い」理由(複数回答)

No.	回答項目	%
1	1人で調べても正解か不安だから	44.2%
2	すぐに答えが知りたいから	41.3%
3	聞いた方が早いから	33.7%
4	1人ではできないから	26.9%
5	調べるのが面倒くさいから(聞く方が楽)	14.4%
6	勉強してるということを知って欲しいから	6.7%
7	その他	13.5%

■結果:「あまり聞かない・聞かない」理由(複数回答)

No.	回答項目	%
1	自分で何とかしたいから	66.2%
2	どう質問していいか分からないから	31.0%
3	聞くことが面倒くさいから	19.7%
4	聞くのが恥ずかしいから	16.9%
5	何が分からないかが分からないから	16.9%
6	人と話すのが苦手だから	15.5%
7	聞いても答えてもらえないから	7.0%
8	分からないことは全くない	4.2%
9	その他	12.7%

※本リリースの調査結果をご利用頂く際は、「すららネット調べ」とご明記下さい。

NEWS RELEASE

2) 勉強が分からなくても“父親”には聞かない! ?

勉強で分からないことがあった時、誰に聞いているかとの問いに対し、TOP3 は「塾の先生」(55.8%)、「母親」(51.9%)、「学校の先生」(40.4%)で、父親は TOP3 圏外という結果となりました。

父親に聞かない理由で一番多かったのは、「父親は忙しいから」(25.7%)でしたが、次いで多かったのは「父親に話しかけたくないから」(11.0%)や「父親に教えてもらおうと長いから」(10.3%)といった回答で、父親に聞けないのではなく、聞きたくないといった傾向も見られます。中には「(父親は)頭悪そうだから、スポーツバカ」といった辛辣な回答も見受けられました。

■結果:【1)で「よく聞く・聞くことが多い」と回答した方対象】「勉強で分からないことがあった時、誰に聞いていますか?」の回答 (複数回答)

No.	回答項目	%
1	塾の先生	55.8%
2	母親	51.9%
3	学校の先生	40.4%
4	友達	37.5%
4	父親	37.5%
6	兄弟・姉妹	19.2%
7	祖父	2.9%
8	祖母	2.9%
9	その他	1.9%
10	未回答	1.0%

■結果:【1)で「あまり聞かない・聞かない」と回答した方 と上記質問で「父親」と回答しなかった方対象】
「なぜ父親には聞かないのですか?」の回答 (複数回答)

No.	回答項目	%
1	父親は忙しいから	25.7%
2	父親に話しかけたくないから	11.0%
3	父親に教えてもらおうと長いから	10.3%
4	父親も分からないと思うから	9.6%
5	父親は教え方がうまくないから	5.9%
6	その他	12.5%
7	未回答	44.9%

●ご参考:「親側の教育に関する考え方についての調査」

「親の教育に関する考え方についての調査」を別途実施したところ、母親のほうが塾に通わせたいと考え、学校や塾の先生を頼りにしている傾向が強く、父親は教育に熱心で学習上の苦手は親として正確に知っておきたい、と考えている傾向が見られます。このことから、母親は自分で教えるより学校や塾に頼りたいと思い、父親は自分で教えたいと思っている傾向が伺えます。

この2つの調査結果を見ると、子どもに教えたくても頼られないといった残念な父親像が浮き彫りとなりました。

■結果:「あなたの教育に関する考え方にあてはまるものをすべてお答えください。」の回答 (複数回答)

回答項目	父親% (n=175)	母親% (n=125)
子どもの将来を考えると、できるだけ塾に通わせたい	45.1	54.9
子どもの教育については、学校や塾の先生を頼りにする	43.9	56.1
子どもの教育には熱心な方だ	52.5	47.5
子どもの学習上の苦手は親として正確に知っておきたい	52.8	47.2

<調査概要>

中学生の子供を持つ 30~59 歳未満の男性 175 名、女性 125 名の計 300 名に対するインターネット調査。
調査は 2011 年 6 月 10 日~12 日に実施。

*詳細は 1 ページ目下部にある<本件に関するお問合せ先>までお問い合わせください。

NEWS RELEASE

3) 勉強するのは“誰かに言われて”ではなく、“自発的に”が半数以上！

授業以外の勉強をする目的では、「テストで良い点を取りたいから」(61.0%)と、「将来の夢を叶えるため」(50.8%)の2つが半数以上となったのに対し、「親や先生が勉強しろと言うから」は16.4%にとどまりました。

また、勉強が分かるようになりたいと思うかとの問いでは、ほぼ全員が「分かるようになりたい」(「分かるようになりたい」(84.7%)・「どちらかと言うと分かるようになりたい」(13.0%))と回答しました。このことから、勉強は分からなくてもよい、といった投げやりな態度をとる人はほとんどおらず、また、人に言われて嫌々勉強するのではなく、自発的に勉強をしている実情が浮かび上がりました。

■結果:「授業以外の勉強は、何のためにしていますか?」の回答 (複数回答)

No.	回答項目	%
1	テストで良い点を取りたいから	61.0%
2	将来の夢を叶えるため	50.8%
3	将来が不安だから	28.8%
4	授業だけでは身に付かないから	24.3%
5	周りの子より成績が悪いと嫌だから	22.0%
6	授業についていけないから	18.1%
7	将来の可能性を狭めないため	18.1%
8	親や先生が勉強しろと言うから	16.4%
9	特に何のためでもない	5.1%
10	その他	10.7%
11	未回答	0.6%

■結果:「勉強が分かるようになりたいですか?」の回答

No.	回答項目	%
1	分かるようになりたい	84.7%
2	どちらかと言うと分かるようになりたい	13.0%
3	どちらかと言うと分かるようにならなくていい	0.6%
4	未回答	1.7%

4) 将来の夢、男子は「夢は無い」、女子は「幼稚園・保育園の先生」!

将来の夢を聞いたところ、男子のTOP3は「夢は無い」、「スポーツ選手」、「医者」となり、女子のTOP3は「幼稚園・保育園の先生」、「夢は無い」、「声優」という結果となりました。

前述の3)において、勉強は分かるようになりたいから自発的に勉強している様子が伺え、1)では分からないことがあれば人に聞くのも臆さない傾向を示していたにもかかわらず、男女とも「夢は無い」がTOP3に入ってきてしまうという残念な結果となりました。大学全入学時代を迎えて久しく、学力の2極化が問題視されていますが、学力だけではなく、人間力も2極化していることが懸念されます。

■結果:「勉強が分かるようになりたいですか?」の回答

【男子】

No.	回答項目	%
1	夢は無い	15.6%
2	スポーツ選手	14.6%
3	医者	8.3%
4	公務員	5.2%
4	歌手・俳優	5.2%
6	決まっていない	4.2%
7	警察官	3.1%
7	会社員	3.1%
7	パティシエ	2.1%
10	政治家	1.0%
10	デザイナー	1.0%
10	看護師	1.0%
10	学校の先生	1.0%

【女子】

No.	回答項目	%
1	幼稚園・保育園の先生	13.6%
2	夢は無い	7.4%
2	声優	7.4%
4	看護師	6.2%
4	アナウンサー	6.2%
6	医者	4.9%
6	学校の先生	4.9%
8	決まっていない	3.7%
9	調理師	2.5%
9	パティシエ	2.5%
9	デザイナー	2.5%

NEWS RELEASE

5) 先生になって欲しいタレント 男性 1 位は櫻井翔(嵐)さん、女性 1 位は上戸彩さん

先生になって欲しいタレントを聞いたところ、男性タレントの TOP3 は「櫻井翔(嵐)」さん、「向井理」さん、「武田鉄矢」さんとなり、イケメンが人気であることに加え、金八先生の人気の根強さが浮き彫りとなりました。また、女性タレントの TOP3 は、「上戸彩」さん、「北川景子」さん、「綾瀬はるか」さんという結果となりました。奇しくも金八先生では生徒役だった上戸さんが 1 位となり、残りのお二方はドラマや映画で先生役を演じた経験のある方が選ばれました。

■結果:「勉強が分かるようになりたいですか?」の回答

【男性タレント】

No.	回答項目	%
1	櫻井翔(嵐)	24.9%
2	向井理	14.1%
3	武田鉄矢	11.3%
4	三浦春馬	5.6%
5	マツコ・デラックス	5.1%

【女性タレント】

No.	回答項目	%
1	上戸彩	15.3%
2	北川景子	12.4%
2	綾瀬はるか	12.4%
4	天海祐希	6.2%
5	吉瀬美智子	5.6%

<調査概要>

- 1) 調査名 :「学習に関する意識調査」
- 2) 調査方法 :e ラーニング教材「すらら」のログイン画面にて回答を得た
- 3) 調査対象 :小学 5 年生から高校 3 年生までの男女
- 4) 調査期間 :2011 年 8 月 16 日~9 月 4 日
- 5) 有効回答数:177 名<男性:96 名・女性:81 名、小学生:30 名、中学生:119 名、高校生:28 名>

NEWS RELEASE

■eラーニング教材「すらら」とは

【学習範囲】 中学から高校までの学習指導要領に準拠

【対応教科】 英語・数学・国語

【特徴】

○Point 1 「弱点自動判別システム」搭載

分からない理由が明確になれば、あとはその弱点を克服するのみ。克服のためのドリルも出題。

○Point 2 理解度に応じてカスタマイズされた問題を出題

勉強がいやになる理由のひとつは、「難しすぎる」あるいは「簡単すぎる」問題に取り組みなければならないということ。「すらら」は理解度に合わせてカスタマイズすることで、「簡単すぎず難しすぎない」問題が出題されるため、学力レベルに関係なく、すべてのお子様、達成感を感じ自信を深めながら、学習を進めていくことが可能。

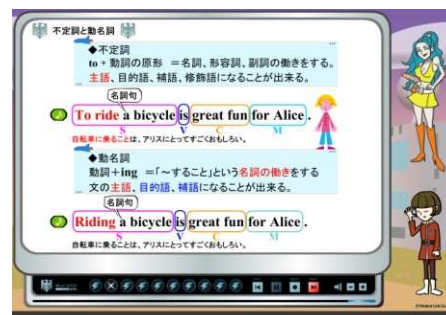
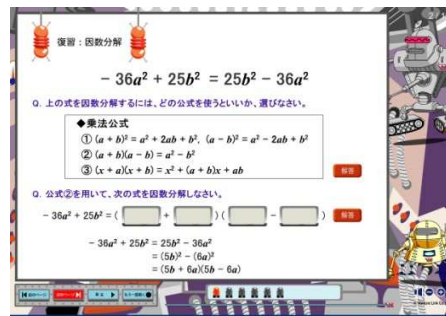
○Point 3 「理解」と「定着」を一体化

「すらら」はスモールステップで「根本理解」を促すアニメーションによるレクチャー（授業）と、理解したことを「定着」させるためのドリルが一体化。これによって、「わかる」喜びと「解ける」楽しさを同時に味わいながら、お子様は学習を進めることが可能。

<参考>これまでのeラーニング教材の大半は以下の3パターン

1. 動画配信型：カリスマ講師のレクチャービデオを視聴するタイプ
「理解」にはすぐれているが「反復」の部分がないうえやりっぱなしになってしまい、実力が身につかない傾向がある。また、一方的な説明となるため、比較的意識の高いお子様でないと、集中力が続かない。
2. 問題集型：問題集の結果をパソコンに打ち出して結果分析をするタイプ
「定着」にすぐれているが「理解」の部分がないうえ、学力の高い生徒でないと一人で学習を進めることが困難な傾向がある。
3. ゲーム型：携帯用ゲーム機などを使って学習するタイプ
非常に楽しく学習できるが、単語など反復による暗記系が中心で、体系的な学習には不向き。

「すらら」はこうしたそれぞれの短所を補い、長所を相乗効果的に組合せた、理想の"次世代型教育システム"です。



■ 株式会社すららネット 会社概要

- 設立：2008年8月 ○ 資本金：6,285万円 ○ 所在地：東京都千代田区内神田
- 事業内容：eラーニングによる教育サービスの提供および運用コンサルティング、マーケティングプロモーション及びホームページの運営
- 会社URL：<http://surala.jp/>